

# 会報

No. 105

令和3(2021)年9月15日

<https://www.library.pref.kyoto.jp/k-lib/council>

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町

京都府立図書館内

TEL (075) 762-4655

## <目次>

### 1 面

- ・宇治市電子図書館サービスについて  
(宇治市中央図書館)

### 2 面 / 3 面

- ・木津川市立図書館における、電子図書館運用開始までの経過  
(木津川市中央図書館)
- ・子どもの本コンシェルジュの誕生  
(京都市生涯学習振興財団)
- ・研修予定

### 4 面

- ・コロナ禍での工夫！  
(綾部市図書館)

## 宇治市電子図書館

### サービスについて

宇治市中央図書館 館長 安田 美樹

### 導入後三か月が経過して

三月末に開設した「宇治市電子図書館」は、六月末までに利用申込が千人を超え、累計貸出点数が三五〇〇点を上回るなど、好調な滑り出しとなっています。四月に再び休館した際にもサービスが継続でき、電子図書館を導入しておいて本当に良かったと思いました。

利用者からは、「手元に本がない時や、ちよつとした空き時間に読めるのが良い。」「青空文庫で名作を読み返している。」「という意見や「電子書籍には馴染めない。」「若い人にしか使えない。」「本の数が少ない。」といった反応があります。

人気があるのはレシピア本、学習まんが、小説などで、YA向けの小説やビジネス書の他、英文版コミック「鬼滅の刃」等も上位です。

電子図書館の利用を契機に、図書館の貸出券を申込み学生や社会人等が増え、利用者の拡大にも繋がっています。

### 導入のきっかけ

私自身、以前から電子書籍を利用しており、便利であるため、いつか電子図書館を導入したいと考えていました。昨年、新型コロナウイルスの影響により図書館が長期休館となると、再開を望む切実な声が多数

寄せられました。そこで、具体的な検討

を始めたところ、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金の第二次補正予算が活用できることが分かりました。また、世界最大手の事業者が「電子図書館緊急導入支援キャンペーン」(初期経費等〇円)を行っていること知り、すぐに連絡を取りました。当時、国内の導入館は一〇〇自治体にすぎず、課題ばかりが取り沙汰されていたため、導入には若干の不安がありました。しかし、国内外

の電子図書館の状況や課題を詳しく聞き、将来的な可能性を知る中で、不安や不満ばかり述べているのではなく、まずはサービスを導入し、顧客となつて要望や意見を伝えることが課題解決の近道ではないかと考えるようになりました。その後、図書館システムとは非連携とすることを決め、九月補正、入札、契約、選書、職員研修、広報等を進め、三月下旬にサービスを開始することができました。

### メリット・デメリット

電子書籍は、選択肢が少ない、人気の本や新刊がない、単価が高いなどデメリットは多いものの、自動返却される、延滞がない、紛失や破損がない、いつでも使える、来館が不要など、それを上回るメリットがあります。外出時に重い本を持ち歩く必要がない点も魅力です。

また、誰もが使いこなせるよう、申込時には必ず大型ディスプレイを使って操作方法を説明し、電子図書館の使い方教室も行っています。

## 今後の展開

GIGAスクール構想により本市の小中学校でも一人一台のタブレットが整備されます。これを使い、学校の授業や朝読書等で電子書籍を活用することを協議しているところです。

また、貸出不可の地域資料等をデジタル化して電子図書館に置き、多くの人が閲覧できるよう整備していきます。

この一年で導入自治体は倍増し、資料数の充実や価格改善が進むことが期待されます。また、事業者は、図書館にとって何が導入の障害なのか、どこを改善すれば良いのかを知りたがっているため、今後も、積極的な意見交換を行い、より良い電子図書館サービスを目指します。さらに、大きな課題である予算確保に努め、資料を充実していきます。

## 終わりに

図書館では、電子書籍に否定的な意見もあります。しかし、選択肢が増えることは悪いことではなく、図書館に行きたくても行けない人、外出を自粛している人、経済的な理由で読書がしにくい人、電子書籍なら読む人など一人でも多くの人に、デジタルを活用して一冊でも多くの本を届けたいと考えています。



## 木津川市立図書館における、 電子図書館運用開始までの経過

木津川市立中央図書館 館長 山岡 孝行

現在、「奈良市と木津川市との連携・協力に関する包括協定」に基づき、互いの持つ資源や特性を活かしながら、連携・協力し、それぞれの地域の活性化及び、持続的成長に向けた取組を推進しています。

奈良市立北部図書館は、木津川市の西部市街地と近接し、また駅前の大型商業施設にも面している図書館でもあるため、従来より木津川市民も閲覧利用している状況にありました。

そのため、木津川市民からの奈良市立北部図書館利用の要望も数多くあり、この包括協定に基づき、木津川市民の利用度に応じて経費負担をするという形で「木津川市民の北部図書館利用に関する覚書」を取り交わし、平成三十年九月三十日から木津川市民が利用出来る「専用の貸出券による」こととなりました。

令和二年度の木津川市民の奈良市立北部図書館の利用については、登録者数二五九人、延べ貸出人数一二二六〇人、延べ貸出冊数四〇一七五冊であり、奈良市立北部図書館全体比で十一・五%の状況でありました。

一方、昨年度から、猛威を振るっている新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながらの図書館運営を余儀なくされ

る中、奈良市立図書館では、感染対策の一つとして、不要不急の外出を控え、人と非接触で読書ができる電子書籍システム（電子図書館）を、令和二年十月三十日から、小説や絵本など約一八〇〇コンテンツを用意し、運用を開始しました。時期を同じくして、市の図書館協議会や市議会議員の方から、電子書籍の利用について、ご意見を頂いており図書館としても検討を進めていました。

その後、奈良市が導入された電子書籍（電子図書館）の木津川市民の利用について、連携・協力に関する包括協定に基づき協働できないか、奈良市側と協議する運びとなり、コロナ禍において、電子書籍のニーズが高まる中、自館でのシステム導入や書籍購入、そして維持経費について検討を進めた結果、奈良市とのスケールメリット、コンテンツの充実や運営労力・業務効率等の費用対効果が大きいとの考えに至り、奈良市立北部図書館との覚書を変更（内容追加）し、令和三年四月より、京都府内で初めて、自治体間連携での奈良市電子書籍（電子図書館）の木津川市民の利用ができることと



なりました。（二月末、約四二〇〇コンテンツ）

なお、利用促進を図るため、初動として四月のみ期間を限定し、木津川市内の図書館三館において、奈良市立北部図書館の新規利用申込を受け付けるとともに、奈良市との連携をより深めています。

緊急事態宣言における臨時休館もあり、直接、利用者から感想等を聞くことはできていませんが、新規利用登録の状況を見ていると、電子図書館をきっかけにして、潜在的な利用者の掘り起こしに繋がっていると推測します。

### 費用の算定について

奈良市立北部図書館経費×木津川市民の利用率で案分し、前年度利用実績に基づき、奈良市から請求されます。

## 子どもの本コンシェルジュの誕生

京都市生涯学習振興財団

上級主幹司書 尾上 奈緒

### 養成講座立ち上げの経緯

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されてから、今年で二十年になります。この法律の基本理念を受け、各自自治体では子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画策定が努力義務となり、京都市においても平成十六年の「京都市子ども読書活動推進計画」策定以降、五年ごとの改訂が行われ、現在

は第四次計画に従って取組を実施しているところです。

第三次計画までは、主に子どもたちやその保護者に直接働きかける読書啓発事業が中心でしたが、事業が成熟するにつれ、子どもと本の橋渡しをする「人」の育成の大切さを改めて感じるようになりました。これまでも、司書を対象とした児童サービスの入門的な講座はありましたが、将来を見据えると、そこから一歩進んで、これからの児童サービスを牽引する高い能力を持った司書の存在が必要です。そこで第四次計画では、子どもの読書活動の指南役となる人材の育成・資質向上を目的に「子どもの本コンシェルジュ養成講座」を立ち上げることにしました。

### 二つの課題

この講座を実現させるにあたり二つの課題がありました。一つ目の課題は、講座の中身です。子どもと本を結ぶ将来のリーダーには、どのような知識がどの程度必要かということです。様々な地域で取り組まれている児童図書館員養成講座等を参考に、予算や担当職員の業務との兼ね合いを考慮して、十講座を二年かけて実施することにしました。子どもがお話の面白さを体験する昔話や、子どもにとって初めての文学との出会いになる絵本に関する講座については、受講者の理解を深めてもらうため、思い切ったそれぞれ二回の講義時間を取りました。また、十回の講義だけでは深い理解につな



がりにくいという思いもあり、それを補い学んだ内容をしっかり身に付けてもらうため、毎回その講義に関する課題を出し、提出を義務付けました。

二つ目の課題は、講師をどうするかです。この養成講座の目的を理解し薄謝で引き受けてくださる方を、知り合いや伝手を頼ってお願ひしました。紆余曲折はあったものの、最終的には各々の専門分野で活躍されている八名の方に、講師としてご協力いただくことができました。

#### 受講者に求めるもの

受講対象者は、日々子どもたちと本を介して接することの多い京都市図書館司書と京都市立学校に勤務する司書教諭及び学校司書としました。子どもの本の指南役を養成するには決して十分とは言えない講座回数のため、受講者には専門家としての意識を高め自ら学ぶ姿勢を期待するしかありません。その気持ちをうまく引き出すにはどうするか、講座を主催する側としても悩むところです。子どもの読書活動に関わる者は「子どもが本を読む、あるいは読んでもらうとはどういうことか」という問いに常に向き合う必要があります。その思いに灯をともしきつかけとして、当時の担当職員のアイデアで、受講希望者には、応募の際、指定する課題図書感想文を提出してもらうことにしました。課題図書は、現在東京子ども図書館の名誉理事長をしてもらえる松岡享子さんの著作「えほんのせかいこどものせかい」としました。

#### コロナ禍での講座開催

結局、二十名の募集に対して応募が上回り二十九名の受講生と共に、令和元年十一月、第一期養成講座がスタートしました。順調な滑り出しでしたが、一年目の前期講座がちょうど終わったところ、新型コロナウイルスの波が押し寄せました。次年度に予定している後期講座が始まるまでには収束するとの淡い期待は見事に裏切られ、開催自体が危ぶまれる状況となりました。大学の講義が全てオンラインとなる中、講師の方からもZoom開催をご提案いただきましたが、将来の子どもの本コンシェルジュには、講師から知識だけではなく、情熱も受け取ってもらいたいと対面方式にこだわり、感染症防止対策に万全を期して、なんとか全講座を終えたというのが正直なところでした。

#### 養成講座第一期を終えて

受講者は皆、勤務が終了した夕刻からの講座にも関わらず、講師の話に熱心に耳を傾け、質問をし、タイトなスケジュールで課題をこなしました。ある講師の方からは「対面講義は久しぶりですが、皆さんがよく聴いてくださるので話しやすかったです」との感想をいただきました。講座終了後のアンケートでは、「このような学習の場を待ち望んでいた」との感想と共に、一人職場の学校司書からは、コロナ禍で実現できなかった交流会を求める意見が寄せられました。

こうして令和三年の四月、自己都合や

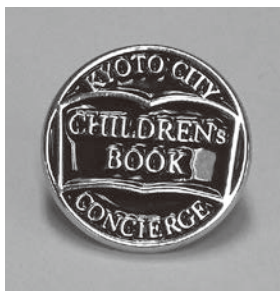
コロナ禍の影響で三名の辞退はありましたが、二十六名の「子どもの本コンシェルジュ」が誕生しました。全課程を受講し課題を提出した者には、修了証とコンシェルジュを表すバッジが授与されます。二年間かけて学び、難しい課題に取り組んだ生きた学びのリーダー達ですが、決してこれで終わりではなく、今後も学ぶ姿勢を大切に、それぞれの職場で子どもの本の指南役として活躍されることを期待します。そして、一人でも多くの子どもたちに本の持つ力を伝えて欲しいと願っています。



現在、I期の反省点を踏まえ、II期目の開催に向けて準備を進めているところです。

#### コロナ前の講義風景▶

#### ▼コンシェルジュバッジ



### 令和3年度京図連協研修予定

北部 十一月十二日(金)

テーマ 「これからの図書館の在り方」

課題解決型サービステーマについて

場所 宮津市福祉・教育総合プラザ

及びオンライン配信

講師 常世田 良氏

(立命館大学教授)

中部 十二月二日(木)

テーマ 「情報リテラシーの鍛え方」

場所 府立図書館三階マルチメディア

インテグレーション室

講師 佐々木 美緒氏

(京都精華大学准教授)

南部

未定

#### 第三十回京都図書館大会

テーマ「アフターコロナと

図書館のこれから(案)」

日程 十一月二十九日(月)

場所 府立図書館からオンライン配信

#### Ⅱ会報はホームページに掲載Ⅱ

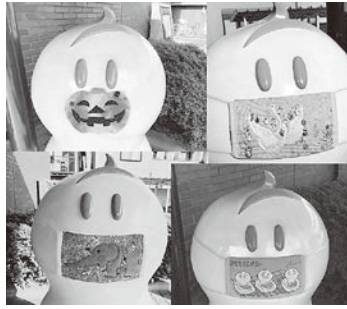
京都府図書館等連絡協議会のホームページに過去の会報も掲載しています。御利用ください。

## コロナ禍での工夫！

綾部市図書館 館長 生駒 彩子

コロナ禍で、利用者の方に我慢していただく場面が増えました。当館では逆転の発想で、少しでも気持ちよく、楽しく図書館利用ができるようにコロナ対策をしています。（※一般的な対策の説明は省きます）

まずはお出迎えの玄関。利用者さんの手作りマスクをした「まゆぴー」（写真①）がマスク着用をお願いをしています！



▲写真①

館内のソーシャルディスタンスの足元表示も、PANDAAID（クレジツト・INSIGNER&PANDAID VOLUNTEER SUPPORTERS）提供の「本マグロー一匹分離しよう」（他三種類あり）（写真②）インパクトのあるポスターを掲示しました。カウンター周りのビニールカーテン（写真③）。絵本作家のカレンダーイラストを貼っています。カウンター前の人が集まりやすい空間にはクリスマスツリー

を設置！片づけ忘れではありませんが、「距離をおいて」「近づかない」と注意することはあまり愉快ではありません。ツリーを置くことで、人と人との間に自然と距離がつけられます。

しかもオーナメント付き！月ごとに代わり、六月は「万エルツリー」

写真④。季節感満載！月末には子どもたち自ら選んで持ち帰ります。これが意外にも大人気！



▶写真③



▶写真⑥

本の消毒機には間違い探し（写真⑤）。六十秒の待ち時間も有効利用！館内に貼る注意書きは、上から目線を感じさせないよう工夫をしました。

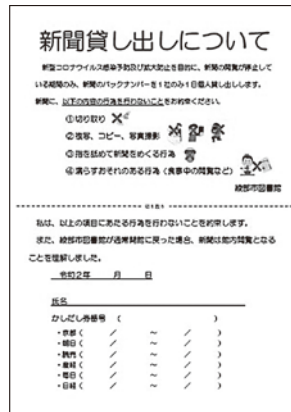
また、館内閲覧制限時には、新聞のバックナンバーの貸し出し（写真⑥）も実施。全国紙五社と京都新聞に許諾を！しかし、あんなにバックナンバーの貸し出しを要



▶写真⑦

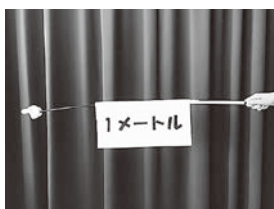


▲写真⑤



▲写真⑥

てもらえる方法を検討。開催時には、差し棒で楽しく距離を確認（写真⑦）。夏の大形行事は、一人で演じることが可能な「腹話術」と「落語」を開催。演じ手の前にビニールシートを張り、サーカスフラッグ（写真⑧）をつけ、コロナ対策を感じさせない舞台を作成。工作教室も「テイクアウト工作」（写真⑨）に変更！



▶写真⑦



▶写真⑧



▲写真⑨

求されたのに、可能になると、利用されないんですよ！人間は制約されると逆にしたくなるもの。制約をはずせばどうなるのでしょうか？今回のGWは特別に月曜の週休日も含めて開館しました。（※当館は祝日開館していません）結果は、無事密を回避することができました。

行事についても、「止めるのではなく、出来る方法を考えよう！」という綾部市の方針のもと、少しでも気持ちよく参加し